

)さんへ

説明日(/) 説明者氏名()

STA6300050

月日(日時)	(/)	~(/)	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/)
経過(病日等)	入院日	~手術前日	手術当日朝	手術直後~集中治療室(SICU)	手術後1日目	手術後2~3日目	手術後4~5日目	手術後6日目	手術後7日目
達成目標	◇手術について理解できる ◇身体的準備が出来ている ◇精神的準備が出来ている			◇肝不全の症状・所見がない ◇疼痛のコントロールができる ◇合併症の症状・所見がない  ◇胆汁漏の症状・所見がない ◇呼吸状態が安定している ◇経口摂取が可能な状態にある ◇深部静脈血栓症の症状・所見がない ◇循環動態が安定している ◇排泄の性状に問題がない					【手術7日目ごろ退院・転院です】 ◇退院について不安がない ◇発熱などの合併症がない
治療・薬剤 (点滴・内服)									
処置	内服がある方は薬を確認します。ワ-ファリンを飲んでいられる方は点滴に変わることがあります 	手術する部位の毛を剃ります おへそをきれいにします 15時に下剤を飲みます 21時に下剤と安定剤を飲みます 	麻酔科医の指示で朝6時に薬を内服する場合があります 6時に浣腸します 手術着に着替え 弾力ストッキングをはきます	鼻から胃に管を入れます 酸素マスクをしています 点滴を2時間行います 1日3回抗生剤の点滴があります 肝機能を改善する注射があります 1日4回痛み止めの点滴があります 心電図モニターをつけます 腹部にチューブが挿入してあります				 手術後6日目に鉤を取り(創部の状態に応じて変更する場合があります)	
						医師の指示にて内服薬が再開されます			
検査	採血・レントゲン・心電図・肺機能検査があります 身長・体重を測定します	肝機能検査のための注射・採血があります 		胸部部のレントゲン・血液検査があります 術後翌日から毎日体重測定をします	胸部部のレントゲン・血液検査があります				
活動・安静度	病院内自由に歩行できます 		ベッド上で安静です 寝返りは出来ます 	翌朝から看護師と一緒に立つ練習からはじめて病棟内を歩行訓練します	病棟内は歩行できます 			院内を歩行できます	
安全	ベッド柵は2本設置します 運動靴の使用をお願いします			歩行の際、看護師が付き添います	看護師が起立時は介助する場合があります				
食事		屋食から食事は中止です 点滴があります 	水分も食事も取ることができません 	胃管を抜いたら水分を取る事ができます 	欠食です	2日目より食事は全粥から開始し、徐々に形態を上げてい			
清潔	入浴やシャワーできます 	体を清潔にし髪を洗って下さい 爪切りをしてください 	洗面・歯磨きをして下さい 男性の方は髭剃りもして下さい 	体拭きをします 				傷の状態が良ければシャワーに入れます 	
排泄				尿の管が入ってきます 排便時は、ベッド上で便器かオムツを使用します					
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟の案内をします 手術までの流れについてわからないことは説明します 呼吸訓練を続けて行います ★腹式呼吸・口すぼめ呼吸 ★咳・痰出しの練習 ★術後疼痛について説明します ★薬剤師より現在内服中のお薬について説明します ★禁煙はできていますか？ ご本人及びご家族に手術の説明を行います	麻酔科医師、手術室看護師が会いに来ます  手術に必要な物品がそろっているか確認をしますので、1つの袋にまとめてください(看護師が預かります)	入れ歯・時計・指輪・湿布・眼鏡・コンタクトレンズ・かつらなど手術室に行く前に必ずはずして下さい 貴重品は必ずご家族に預けてください 手術が終わったら、7階のSICU(集中治療室)へ移動します 痛みが強いときは痛み止めを使います。遠慮なく言って下さい 手術が終わり次第、電話で連絡致しますので家族の力(は、四六八)ください 主治医からの説明があります	呼吸訓練1日3回 痰をしっかり出して肺を広げ肺炎を予防しましょう 				退院指導を行います  診断書・証明書が必要な方は早めに提出してください。	

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。 注3 術後の状態に応じて予定は変更することがあります
注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。 変更時はその都度説明を行いますので不明な点がある際はお尋ね下さい。

久留米大学病院 肝胆脾外科 西棟11階病棟
2023.6月改訂